

# わくわく本だな 7月号

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「12ヵ月のおてつだい -ぼくとポチのシリーズ-」 (えほん) きたやま ようこ/作 理論社

キャンプでごはんをたいていたら、カバさんがおてつだいにきてくれました。おにぎりをたくさんつくってくれたカバさんですが、じぶんのおにぎりだけはキャベツがまるごとはいって大きいのです。これは7月のおはなし。アリヤワニ、うさぎなど、毎月だれかがおてつだいにきてくれます。



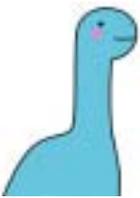
「あかちゃんカンガルー」 もとした いづみ/作 ポプラ社

あしたは、あかちゃんカンガルーのトビーが、はじめてママのふくろから出て森のどうぶつたちにあいさつする日。トビーはあいさつのれんしゅうをしています。ところが、あわてんぼのママは、トビーをおいてどこかへいってしまいました。



「青き竜の伝説」 久保田 香里/作 岩崎書店

12才の元気な少年あかると、幼なじみで巫女の更羽は、山と谷にかこまれた遠見の村にすんでいます。この村には、湖の精霊に守られているという伝説がありました。ある日、倭の国から軍勢がやってきて、あっというまに村を支配してしまいます。逃げだしたあかると更羽は、湖の精霊をあやつるといふ巫女を探しに、那見のくにへ行くことにしました。



「アイガモの絵本 -そだててあそぼう 65-」 ふるの たかお/へん 農山漁村文化協会

アイガモのひなを田んぼにはなつて、お米と家畜の両方を育てるアイガモ農法。アイガモが田んぼの虫や草を食べてくれるので、イネもすくすくのび、アイガモも元気に育つというわけです。1年間の農作業の様子がくわしくかいてあります。

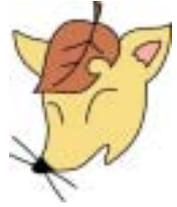


# あたらしくはいった本

## えほん

「あっぱれ!コン助」 藤川 智子/作 講談社

きつねのコン助のおとうさんは、ふしぎな力のもちぬしでした。  
ところが、妖術つかいのたくらみで、“つづみ”にかえられ、おとのさまに  
めしあげられてしまったのです。「おとうはん、あてが たすけにいきまっせ」  
コン助は人間の子にばけて、おしろにのりこみました



## ものがたり



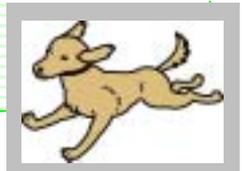
「クッキーのおうさまそらをとぶ」 竹下 文子/作 あかね書房

クッキーのおうさまは、おきさきやこどもたちとくらしていました。  
ある日のこと、いたずらっこのピコおうじが、カラスにさらわれてしまいます。  
さあたいへん!

おうさまはみんなといっしょに、あきはこのひこうきによって、たすけにいきました。

「すつとび犬のしつけ方」 ジェレミー・ストロング/作 文研出版

トレバーの犬は、ふつうの犬ではありません。ロケットのように走り出したら、  
もうだれにも止めることができないのです。この犬をしつけることになったトレバーは、  
友だちのティーナといろいろためしてみました。ローラースケートで散歩する。  
自転車のうしろにえさをつける。ランニングマシーンに乗せる。などなど・・・  
でも、どのアイデアも失敗してしまいます。



「がんばれ!子どもかわうそ」 大西 伝一郎/作 佼成出版社

宇和海の小さな島に、にほんかわうその親子がすんでいました。シマとナミは  
ふたごの兄妹ですが、兄のシマは、とてもおくびょうであまえんぼうです。

ある夜、野犬に追われ、シマはひとりぼっちになってしまいました。  
危険な目にあいながら、必死で母とナミをさがしつづけます。

「菜の子先生は大いそがし! 学校ふしぎ案内・あらしを呼ぶ二学期」

富安 陽子/作 福音館書店

ぱつとして図書の整理をすることになった川村昇は、文句をいいながらいいかげんに、  
本をかたづけていました。「あと5冊でおわり」と思ったその時、そばに立っている  
へんてこな女の人に気づきました。ピカリと光る丸めがねにカールした髪型で、  
科学者のような白衣を着ています。そして、きびしい声で注意し始めました。

菜の子先生シリーズの2作目です。



## ちしきの本

「時の迷路 ~ 恐竜時代から江戸時代まで~」 香川 元太郎 / 作 PHP 研究所  
ページをめくると、いろいろな時代の生活風景がひろがっています。どのページにも迷路があって、うまくぬけられたら、次の時代へ進むことができます。かくし絵やクイズもあるので、歴史を目でたしかめながら、なんどでも楽しめる一冊です。  
時のとびらをくぐって、あなたもタイムトリップしてみませんか？



「さかなのじかん」 なかの ひろみ / 作 アリス館  
魚にも時間わりがあるって知っていましたか？ 魚たちは、しぜんの時計やカレンダーにしたがって、じぶんの時間わりでくらしているのです。  
ヒトの時間と魚の時間をくらべてみるのも楽しいですよ。  
魚の一日、一年、一生を美しいイラストで紹介しています。

とくしゅう  
特集

## うたの本

ことばをメロディーにのせてうたう“歌”、声に出して読んだり、リズムをつけて読む“詩”。楽しい歌や詩の本を紹介します。



「きみどこへゆくのか？ スウェーデンの子どものうた」 (えほん)

アリス・テグネール / 作詞作曲 徳間書店  
ゆたかな大自然のなかで遊ぶ子どもたちの様子を、楽しい歌と絵で描いた絵本。  
ぜんぶの歌に楽譜がついているので、歌ってみましょう。

「おやつのおうた」 たかぎ あきこ / 作 リーブル  
きょうのおやつはなんだろうな？ あんぱん、シュークリーム、ホットケーキ、おやつ にこにこごちそうさま！ あしたのおやつのおじかんが楽しみになる本です。

「マザー・グースのうた (1~5)」 谷川 俊太郎 / やく 草思社  
イギリスやアメリカの子どもたちにむかしから伝えられてきた、ふしぎな童謡の世界が楽しめます。5冊ぜんぶあわせて、177の詩が入っています。

「がっこうのうた」 ねじめ 正一 / 作 偕成社  
ぜんぶひらがなで書かれた詩と、ちょっととぼけた絵が楽しい絵本。  
ひとりでゆっくり読んでも、友達とかわりばんこに読んでも楽しめます。



「みえる詩 あそぶ詩 きこえる詩」 はせ みつこ / へん 富山房  
おもわずふきだしてしまう詩、なぜか背筋がヒヤリとする詩、ゲラゲラ笑ってしまう詩など、あらためて言葉の力を感じさせてくれるおもしろい詩がいっぱいです。  
前作「しゃべる詩 あそぶ詩 きこえる詩」も見てね。



# 7がつのこよみ



梅雨つゆがあけたら、いよいよ夏休みはしが始まります。

ゆっくり読書をしたり、いろんなことをしらべたい人、図書館へ来てみませんか。

## 《 きょうは何の日？ 》

### 7月1日 『赤い鳥』のたんじょうび

日本で初めて、子どもむけのざっし『赤い鳥』がつくられた日。  
芥川龍之介あくたがわりゅうのすけの「くもの糸」や、有島武郎ありしまたけおの「ひとふさのぶどう」も、  
このざっしに発表はっぴょうされました。



### 7月30日 新美南吉にいみなきちの うまれた日

「ごんぎつね」、「てぶくろを かいに」、  
「おじいさんのランプ」など、  
心にのこる童話どうわを  
たくさん書いた人です。



### 7月18日 海の日

海のめぐみにかんしゃし、きれいな海を守りましょう。

「うみはおおきいうみはすごい」かこ さとし / 作  
農山漁村文化協会

「海のさかな」渡辺 可久 / 作 岩崎書店

「いるかのうみ」菅 瞭三 / 作 福音館書店  
海のことが、わかる本です。

## 図書館しょうかい! - 大沢野図書館の巻 -

ノーベル街道かいどう (国道41号線) のそばにある、  
大沢野生涯学習センターおおさわのしょうがいがくしゅうの1階にあります。

明るい図書館の中では、お父さんやお母さんといっしょのフロアで  
本やビデオをえらぶことができます。

大きなえほんや紙しばいもあるので見にきてね!



### 夏休み企画展きかくてん

7月16日(土) ~ 8月31日(水)

今年ことしはアンデルセンが生まれて200年目の年です。

「はだかのおうさま」「にんぎょひめ」「みにくいあひるのこ」

「ゆきの女王」などたくさんてんじの名作を集めて展示します。